

## 比較文の同定・比定・比喩3タイプ ——カイ二乗検定による日中対照研究

玉源あい（金沢大学人間社会環境研究科前期課程）

### 【要旨】

本稿では、中国語と日本語の同程度比較文において、①同定、②比定、③比喩の3タイプを区別する。そのうえで本稿は、日中対訳コーパスを用いて、3タイプの比較文の日本語と中国語における用いられ方を対照しつつ考察する。考察順序はまず、中国語と日本語における3タイプの典型的表現を指定し、その出現数をカイ二乗検定により比較し、比較文の選択方法の差異を分析する。なお、この対照研究が成立する根拠は認知言語学の視点から提供される。即ち「原文とその対訳」は言語表現のBase（背景的要素）を同じくするゆえに、profileされた言語構造の使用率を比較することが可能となる。

キーワード：同程度比較文、同定・比定・比喩構造、実比・虚比

### 1. はじめに

中国語と日本語の両言語において比較構造は口語と書面語双方でよく使われている構文である。日本人学生は中国語を習い始めた頃に、中国語の比較構造を理解できないことがある。その要因は中国語における比較構造の文型が三十通り以上あるためである。教師は授業しているときにたびたび学習者の比較構造に関する間違いに気が付く。例えば、

(1)\*我比他不高。正しくは、「我没有他高。」(有差比較)

(私は彼より背が高くない)

(2)\*我聪明不如你。正しくは、「我不如你聪明。」或いは「我没有你聪明。」

(有差比較)

(私の頭はあなたほどよくない／私はあなたほど頭がよくない)

(3)\*我跟他相同喜欢足球。正しくは、「我跟他一样喜欢足球。」(同程度比較文)

(私は彼と同じように、サッカーが好きだ)

(4)\*教室不跟我的房间一样冷。正しくは、「教室跟我的房间不一样，很冷。」

(同程度比較文)

(教室は私の部屋と違ってたいへん寒い)

中国語教師としては、上記の如き文法上の間違いを指摘するだけではなく、その間違いの原因を説明し、さらに学習者が母語による干渉を受けることを理解して指導しなければならない。すなわち中国語と日本語における比較構造に関して教師は両言語を全体的に深く理解して学習者に教授しなければならない。

先行研究では「有差比較範疇」に関しては深く細部にまで渡った研究が見られるが、一方「同程度比較範疇」への関心は少なく、一部の特殊構文を考察する際に触れられるにとどまっている。本稿は同程度比較範疇の文法形式及び意味と形式との対応関係から導きだされた語義範疇について細部にわたる分析を行い、日中・中日翻訳及び中国語教育などに役立てることを目的としている。

考察するにあたり、対照言語学の方法を利用する。対照言語学研究は二つのパターンがある。一つはある言語のある形式に基づき別の言語での対応表現を比較する。例えば、中国語同程度比較構造「A 和 B 一样X」とその日本語訳を比較する。もう一つは同じ言語概念に基づいた比較である。例えば、「同定、比定」という概念を設定して、中日両言語でのその意味を表す言葉を挙げて、相互に比較する。

本稿ではまず、BJSTC 中日対訳コーパス<sup>1)</sup>における中国語部分と日本語部分での使用方法を別個に調査し、つぎにパラレルコーパスとして用いて同一文脈でそれぞれの表現が用いられるかを検討した。

## 2. 同程度比較構造

中国語における比較範疇は「同程度比較（平比）、有差比較（差比）、最上級（「極比」）」に分けられる。同程度比較と有差比較に関しては、比較関係を構成するために二つ以上の異なる対象が必要である。本稿では話し手が直接認識する対象を比較主体と名付け、略称をAとする。他方、話し手が参照に使うために認識する対象を比較客体と名付け、略称をB

<sup>1)</sup>BJSTC 中日対訳コーパスでは中国語作品全 30 篇と日本語作品 (36 篇のうち 34 篇：除外作品は韻文 2 篇) を使用した。

とする。そして A と B をあわせて比較対象と呼ぶ。A と B 間の異同・格差は比較結果 C とする。A と B の共通点は比較点 X とする。また、比較関係を表す目印となる語句あるいは構造形式を比較標識とし、略称を M とする。通常、比較構造において、A、B と C は置き換えることができる。しかし、一部の単語は固定していて、これらの変わらない単語が比較標識 M である。

(1) 屋里又潮又臭，地上的土有个铜板厚，靠墙放着份铺板，没有别的东西。《骆驼祥子》

なかはじとじとしてかび臭く、土間には埃が銅貨くらいの厚さにつもって、壁ぎわに板切れ一枚のベッドがおいてあるきりだった。『駱駝祥子』(訳文)

(2) 可是他和城里人一样的只会抱怨粮食贵，而一点主意没有；《骆驼祥子》  
しかし彼は、町方の人々同様、物価の値あがりをぶつぶついうだけで、それをどうしようというわけでもなかった。『駱駝祥子』(訳文)

(3) 我不得不告诉您，我们高密东北乡女人哭丧跟唱歌一样优美，民国元年，曲阜县孔夫子家的“哭丧户”专程前来学习过哭腔。《红高粱》

ここで言うておかなければならない。わが高密県東北郷の女の死者をいたむ働哭は歌のように優美である。民国元年、曲阜の孔夫子家の「哭き屋」がわざわざ哭き方を教わりにきたほどだった。『赤い高粱』(訳文)

(4) 我的心像大海一样膨胀。《青春之歌》

わが心は海原のごとくわきたち。『青春の歌』(訳文)

上記例(1)「有」(2)「和～一样」(3)「跟～一样」(4)「像～一样」が同程度比較構造における比較標識である。同程度比較構造においては、A と B の間に、同一スケールによる計測値の近似、またはある性質に関する類似点を認めることができる。その比較結果 C を表す言語形式のプロトタイプは「一样」である。この「一样」は、同程度比較構造における比較標識 M でもある。

多くの中国語の同程度比較構造の用例を考察した結果、本稿では、さらに下位区分として「同定」と「比定」の二つの類型に大きく分けることとした。その類型に属する構造及び日本語での代表的な表現は表 1 のとおりである。

表 1

	中国語同程度比較構造	対訳コーパスでの対応表現例
同定	「A 和 B 一样X」構造	「A は B と同じ」、 「A は B と変わらない」
	「A 等于B」構造、 「A 和 B 相同」構造	「A は B に等しい」、 「A は B と同じだ」
比定	「A 像 B 一样X」構造	A は B と同じよう／同じくらい ／同様
	「A (没) 有 B 那么(这么) X」構造	A は B とほとんど同じ／同じほど

表 1 について、説明を加える。中国語同程度比較構造に関しては、対訳コーパスでの用例数に基づき、「A 和 B 一样X」を同定のプロトタイプ構造と判定し、「A 像 B 一样X」を比定のプロトタイプ構造と判定して考察を進める。

### 3. プロトタイプ形式の判定方法

#### 3.1 同定構造「A 和 B 一样X」

同定構造「A 和 B 一样X」のプロトタイプで使われる主要な構文標識は、比較対象のうちの B を導く介詞と同程度比較構造の比較結果を表す標識語句の二つである。介詞には「和、跟、同、与」があり、その中の「和」は書面語と口語で用いられ、「跟」は口語でよく使われる、他に「同」と「与」は書面語でよく使われる。これらの介詞の間には基本的には文体差 (contextual difference) が存在すると言われてきている。例えば、本稿が調べた BJSTC 中日対訳コーパス内の論説文グループと小説グループとでの介詞の用法を比較すると、「跟」は多く小説グループに使われ、「同」と「与」は多く論説文に使われることであった。このことは通説を裏付けの一例といえる。比較結果の標識語句としては、「一样」がある。「一样」は形容詞として同等の意味を表すほか、相似の意味も表し、且つ比較構造の述語核である。

同定プロトタイプ「A 和 B 一样X」構造の中の介詞「和」は「跟、同、与」と置き換えられた「A 和／跟／同／与 B 一样X」構造が実際の言語



使用の分布に対してどのような頻度で使われているのかを検証するために、BJSTC 中日対訳コーパス中国語の原作と日本語作品の中国語訳から「和／跟／同／与…一样」を検索し、以下表2の数字を得られた。

表2の検索結果から、中国語の原作及び日本語作品の中国語訳において「和…一样」の使用頻度が最も高く、「与…一样」が最も低いことがわかる。口語体の「跟…一样」文体は中国語の原作において使用頻度が2位に占めるが、日本語作品の中国語訳においては3位になる。上記の数字はその文体差に関する通説を裏付けている。

表2 同定構造「A 和／跟／同／与 B 一样 X」に関する統計<sup>2</sup>

中国語作品C				日本語作品Jの中国語訳			
	文型	件数	%		文型	件数	%
CC	和…一样	147	45%	JC	和…一样	185	49%
CC	跟…一样	103	31%	JC	跟…一样	75	20%
CC	同…一样	66	20%	JC	同…一样	79	21%
CC	与…一样	12	4%	JC	与…一样	42	11%
	計	328	100%		計	381	100%

■ CC 和…一样  
■ CC 跟…一样  
■ CC 同…一样  
■ CC 与…一样

■ JC 和…一样  
■ JC 跟…一样  
■ JC 同…一样  
■ JC 与…一样

### 3.2 比定構造「A 像 B 一样 X」

「A 像 B 一样 X」構造が比定比較構造のプロトタイプであり、その中の比較標識「像」は動詞で基本語義は「2つの事物に共通点が多いことを表す」、人や事物間の相似していることを表し、後によく名詞を目的語に伴える。例えば、

(5) 女儿像妈妈。(類似)

娘は母に似ている。(比較はしていなく、ただ共通点があるのみ。)

また、「像」は比喩のプロトタイプ形式でもある。

<sup>2</sup> CC コーパスは中国語の原作、CJ コーパスは中国語作品の日本語訳、JJ コーパスは日本語の原作、JC コーパスは日本語作品の中国語訳である。

## (6) 他像一只好斗的公鸡。(比喩)

彼はまるで戦い好きのオンドリのようなだ。

「像」が比較標識として同程度比較構造に使われる時、「像」は B を伴え、後ろに比較結果を表す標識の「一样、一般、似的、这么、那么、这样、那样」などと共起する。本稿では、「A 像 B 一样 X」構造を比定のプロトタイプとし、「A 像 B 一般/这么/那么/这样/那样 X」及び「A 像 B 似的」構造を非プロトタイプとする。

この比定構造のプロトタイプとしての「A 像 B 一样 X」構造は、動詞として「像」を使った場合と異なり、必ず肯定形の陳述文になり、否定形に使えない。例えば、

(7) 突然, “哗…轰…” 一声撕人心肺的巨响, 煤流像瀑布一样涌下来。《盖棺》(肯定形) ガーンと耳をつんざく轟音とともに、上から石炭がまるで滝のように流れ落ちてきた。

——\* (否定形) 突然, “哗…轰…” 一声撕人心肺的巨响, 煤流不像瀑布一样涌下来。

何故ならば、比定比較構造として表現したいのは「類似していること」を強調すること、「類似していない」ことは比定比較構造の表現目的ではない。したがって、上記の例 (7) の否定形は非文になると考えられる。

また、比定構造「A 像 B 一样 X」の用法は同定構造「A 和 B 一样 X」と重なるところがあって、「A 像 B 一样 X」構文は「A 和 B 一样 X」構文に置き換えることができる。例えば、

(8) 河里的水流到灯影里, 黄得像熟透的杏子一样可爱, 但可爱一霎霎, 就流过去了, 黑暗中的河水倒映着一天星斗。《红高粱》灯影に流れこんでくる黄色い河の水は、熟した杏のようにみごとな色あいをみせるが、それも束の間、たちまち流れ去ってしまう。暗い河面に、空じゅうの星が影を落としていた。『紅高粱』(訳文)

=河里的水流到灯影里, 黄得和熟透的杏子一样可爱, 但可爱一霎霎, 就流过去了, 黑暗中的河水倒映着一天星斗。

同程度比較構造に使われる場合の「像」は「和」に置き換えられるが、「像」の基本語義の影響で、「A 像 B 一样 X」構造は「相似性」をより強調している。下記、例を挙げ、「A 像 B 一样 X」構造と「A 和 B 一样

X」構造の違い<sup>3</sup>を見てみよう。

(9) 家里和外面一样冷。>家里像外面一样冷。

家の中は屋外と同じくらい寒い。(同等を表すので、「和」のほうを使う)

(10) 家里像北极一样冷。>家里和北极一样冷。(寒さを説明しているので、「像」のほうを使う) 家の中は北極のように寒い。

「A 像 B 一样 X」構造は「A 和 B 一样 X」構造に比べ、本質的に異なるところがある。「A 和 B 一样 X」の中の「和、跟、同、与」は介詞で、Bを導入するだけで、A と B の同等関係を表すのは「一样」である。一方、比定構造「A 像 B 一样 X」の中の「像」は動詞ではあるが、同等関係を表す「一样」と共起して「一样」が表す同等関係を強める働きをする。しかし、文脈を読み解くならば「A 像 B 一样 X」構造は比喻の意味が強く、より具体的、生き生きとした表現ができる。

#### 4. 実比と虚比の定義とそのテスト形式

本稿では中国語の同程度比較構文には二つの基本的に異なる表現機能があると仮定する。一つは「実比」で、もう一つは「虚比」である。本稿の「実比」と「虚比」の概念は劉炎 (2004) に依拠する。

##### 4.1 実比を表わす構文を判定するテスト形式

比較対象には比較主体 A と比較客体 B の両方あるが、「実比」とは具体的、実在的な比較対象同士を比較するものである。A と B はある面において尺度が完全に一致している。共通点の比較点 X が強調され、比較対象の A と B は同類の事物である。語用論から見ると A はコミュニケーションのテーマでもあるが、認識する方法は A と B のどちらも主要なものとし、どちらを副次的なものとするのかを区別しない。その言語形式を判定するテスト形式はいくつかあるが、まず「A と B の位置はあらゆる文脈において入替可能」な点を用いることができる。例えば、

(1) 他跟我一样, 还是条光棍。《钟鼓楼》こいつ、俺と同じで、まだ独りさ。『鐘鼓楼』(訳文)

<sup>3</sup> この用法の使用率の差は、中国語を母語とする中国人にインフォーマント調査によって判定した。

(入替) — 我跟他一样，还是条光棍。

(2) 胡连国是劳资科长胡玉通的儿子。本来和小亮他们一样，是燕南矿的井下工人。《丹凤眼》胡連国というのは経理課長胡玉通の息子である。もとは小亮たちと同じ燕南炭坑の坑夫だったが。『鳳凰の眼』(訳文)

(1) の例では、A の「こいつ」は「独り」で、B の「俺」も「独り」である。A の「こいつ」と B の「俺」は「独り」という点 X で同じなので、例 (1) は実比である。(2) の例では、A の「胡连国」は「燕南炭坑の坑夫だった」、B の「小亮たち」も「燕南炭坑の坑夫」である。つまり A の「胡连国」と B の「小亮たち」は「燕南炭坑の坑夫」という同じ値を備えている故に、例 (2) も実比である。

実比を表す「A 和 B 一样 X」構造では、比較対象である A と B の比較結果は相等 (肯定形) でも相等でなく (否定形) てもよい。X が数値化できるスケールで図られる場合は、否定形「A 和 B 不一样」も主観によってではなく客観的事実として認めることができる。例えば、

(3) 弟弟和哥哥一样，身高 180 厘米。(弟弟身高 180 厘米，哥哥身高 180 厘米。) 弟の身長は兄と同じ、180cm です。(弟の身長は 180cm で、兄の身長は 180cm です)

(4) 弟弟和哥哥不一样，身高 180 厘米。(弟弟身高 180 厘米，哥哥身高不是 180 厘米。) 弟の身長は兄と違って、180cm です。(弟の身長は 180cm で、兄の身長は 180cm ではない)

また、実比を表す「A 和 B 一样 X」構造は「跟/像…似的…」に置きかえることができない点もテスト形式にできる。このことは、二つの言語形式が別の比較範疇、同定と比定を表すことを示す一例と言える。例えば、

(5) 赫老太和许许多多在旗的老太太一样就稀罕这玩意儿。《轱辘把胡同 9 号》赫婆さまも他の多くの旗人の老婦人同様、こいつを珍重している。『轱辘把胡同 9 号』(訳文)

--\* 赫老太跟许许多多在旗的老太太似的就稀罕这玩意儿。

## 4.2 虚比を表わす構文を判定するテスト形式

「虚比」とは比較対象 A、B のうち B を用いて A を説明するものである。A と B は異なる範疇に属する事物である。B は話し手と聞き手双方



にとって既知の事物であり、且つ共通点（比較点 X）において A と似ている。A と B の関係は説明対象と説明の関係にある。一般に A と B の双方は共に共通点（比較点 X）を備え、B の X に関する特徴は A の特徴より顕著であるが、表現の角度からみると A は説明されるべきターゲットであり、テーマでもあるため、B は A の参照点として機能する。すなわち、A と B が意味的にも構文的にも対等ではないために、虚比を表わす構文を判定するテスト形式に「A と B が入れ替え不可能」な点を用いることができる。例えば、

(6) 这些日子的经验使他知道，这些兵的打仗方法和困在屋中的蜜蜂一样只会到处乱撞。《骆驼祥子》  
 この文の経験で、彼はこの連中の戦いのやり方というのを手にとるように知った。部屋にとじこめられた蜜蜂みたいに、盲めっぽう壁にぶつかってゆくだけなのだ。

——\*（入替）这些日子的经验使他知道，困在屋中的蜜蜂和这些兵的打仗方法一样只会到处乱撞。

(7) 他在外面活动的时候的确忘记了鸣凤，但是回到家里，回到跟沙漠一样寂寞的家里，他又不能不想她，不能不因思念她而苦恼。《家》  
 外で活動しているときは完全に鳴鳳を忘れていくせに、家へ帰って、沙漠のような淋しい家の中にいますと、また彼女を思わずにはいられず、彼女を思うゆえにまた苦しまなければならなかった。『家』（訳文）

(6) の例では、A の「この連中の戦いのやり方」と B の「部屋にとじこめられた蜜蜂」は異なる範疇に属するものであり、「盲めっぽう壁にぶつかってゆくだけ」という面において似ているため、虚比の表現となる。(7) の例では、A の「家の中」と B の「沙漠」は異なる範疇に属するものであり、「寂しい」という共通点（比較点 X）において共通しているため、例(7)も虚比の表現となる。

また、虚比意味の関係を表すには、「一样」を使っても「似的」を使ってもよい。虚比を表す「A と B 一样 X」構造は「跟/像…似的…」に置きかえられる。この点もテスト形式に用いることができる。例えば、上記の例(6)(7)は下記のように置きかえられる。

(6) = 这些日子的经验使他知道，这些兵的打仗方法像困在屋中的蜜蜂似的只会到处乱撞。

(7) = 他在外面活动的时候的确忘记了鸣凤，但是回到家里，回到跟沙漠

似的寂寞的家里，他又不能不想她，不能不因思念她而苦恼。

虚比の表現はAとBの共通点（比較点）Xがターゲットと参照点を結ぶため、そのXを介した説明関係はいつも誇張の意味を帯びる。したがって、虚比を表す場合は、それに対応する否定形はない。「AとB一样X」の「一样」の前に安易に「不」を加えて否定形にすることができないことも、虚比を表すテスト形式となる。例えば、上記の例(6)(7)は下記のように「不」を加えたら、非文になるか文の意味が不自然になる。

(6) — \*这些日子的工作经验使他知道，这些兵的打仗方法和困在屋中的蜜蜂不一样只会到处乱撞。

(7) — \*他在外面活动的时候的确忘记了鸣凤，但是回到家里，回到跟沙漠不一样寂寞的家里，他又不能不想她，不能不因思念她而苦恼。

実比・虚比のテスト形式をまとめると、表3のとおりである。

表3

「AとB一样X」構造	実比	虚比
1.AとBの位置は文脈において入替可能	○	×
2.否定形「AとB不一样X」	○	×
3.「跟/像～似的」に置き換える	×	○

## 5. 「実比と虚比」の表現機能と、「同定構造と比定構造」の関係

前項でのテスト形式を用いて、文例中の各構造における表現機能が実比であるか虚比であるかを判定した結果は以下のとおりである。

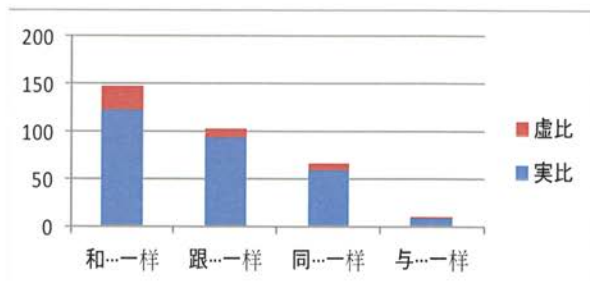
### 5.1 同定構造「Aと/跟/同/与B一样X」における実比と虚比の統計的検定

表4

中国語の原作CC						
	文型	件数	実比		虚比	
CC	和…一样	147	143	97%	4	3%
CC	跟…一样	103	99	96%	4	4%
CC	同…一样	66	61	92%	5	8%
CC	与…一样	12	11	92%	1	8%
	計	328	314	96%	14	4%

中国語作品を標本として判定した表現機能の比率は、実比96%・虚比

4%となる。同定表現として中国語では「A 和／跟／同／与 B 一样 X」における実比の比率が高く、実比表現をプロトタイプとみなせる傾向を見出せるが、さらに推定的統計の手法でこの比率を検定した。



すなわち、1×2の正確二項検定<sup>4</sup>を行ったところ、有意な結果が得られた。特に片側検定<sup>5</sup>でも有意差が出たということは、実比の比率が高いという方向性が存在するのが

偶然によるものではないことを保証している。この検定結果により実比は「A 和／跟／同／与 B 一样 X」構造のプロトタイプであることを確定できる。本稿では一貫して「実比」を、同定を表す「A 和 B 一样 X」構造のプロトタイプとしてとらえ、「虚比」を非プロトタイプとしてとらえることとする。

#### 正確二項検定

[直接確率計算 1×2]

観測値 1

観測値 2

314

14

両側検定 :  $p=0.0000$  \*\* ( $p<.01$ )

片側検定 :  $p=0.0000$  \*\* ( $p<.01$ )

## 5.2 比定構造「A 像 B 一样 X」における実比と虚比の統計的検定

次に、比定構造「A 像 B 一样 X」においても同様に、実比と虚比の用

<sup>4</sup>二項検定 (にこうけんてい) は、2つのカテゴリーに分類されたデータの比率が、理論的に期待される分布から有意に偏っているかどうかを、二項分布を利用して調べる統計学的検定であり、確率を直接求める方法 (正確確率検定) の一つである。


<sup>5</sup>両側検定と片側検定: 同一母集団における2つのサンプル・データの代表値がずれる方向はプラスにずれる場合とマイナスの方向にずれる可能性がある。両方向へずれる確率をともに考慮し帰無仮説を棄却するかどうかを判断する場合を「両側検定」、特定の方向のずれだけを考慮する検定を「片側検定」と呼ぶ。

法を判定し、その記述的統計を出し、さらに推定的統計手法で検定したところ、以下の結果を確認できた。

まず、中国語作品の比定構造「A 像 B 一样 X」の用例の表現機能の比率は、実比 43%・虚比 57%の比率になった。

表5

中国語の原作CC						
CC	文型	件数	実比		虚比	
	像…一样	295	126	43%	169	57%

<p>CC 像…一样</p> 	正確二項検定 [直接確率計算 $1 \times 2$ ]		
	観測値1	観測値2	
	126	169	
	両側検定 : $p=0.0143$ * ( $p<.05$ ) 片側検定 : $p=0.0072$ ** ( $p<.01$ )		

百分率では、実比と虚比のあいだにあまり差がないように見えるが、正確二項検定を行った結果は、次のような判定結果を保

証できるものであった。①両側検定の場合（両者の間に差がある）、②片側検定の場合（方向性が存在する）、すなわち虚比の比率が大きい。したがって、虚比は比定「A 像 B 一样 X」構造のプロトタイプであるという仮説を裏付けることができた。

以上、中国語同程度比較構造について、実比と虚比の観点から同定構造と比定構造について考察を行った結果、同定のプロトタイプ「A 和 B 一样 X」構造と比定のプロトタイプ「A 像 B 一样 X」構造の両方とも、実比と虚比、双方の用法を持っていることが明らかになった。特に、比定構造における実比と虚比は非プロトタイプとプロトタイプの差が認められるものの、使用比率の差は小さい。

ここで、中国語同程度比較構造における表現機能についてまとめておく。

(1) 実比と虚比の共通点は、比較主体 A、比較客体 B、比較点 X を揃えていることである。



(2)実比と虚比の相違点は、AとBが同一範疇の事物であるかどうか、また比較点においてBの特徴がAより顕著であるかどうかというところである。実比の場合、AとBが同一範疇に属する事物であり、比較点においてAとBの尺度が完全に一致している。虚比の場合、AとBが異なる範疇に属する事物であり、比較点においてBの特徴がAより顕著である。したがって、AとBの語義領域が完全に同一であれば実比性が強くなり、語義領域が完全に異なっていれば虚比性が強くなるが、その境界には曖昧性が残る。したがって前後の文脈による多義も生じうる。

## 6. 日中対照研究のための「比喩」の導入

中国語においては、比較標識としての「和」と「像」は「一样」と共起する場合、その構造は同定「A和B一样X」と比定「A像B一样X」という同程度比較構造の下位類型に位置づけられる。「A和B一样X」と「A像B一样X」にはともに、実比と虚比が含まれ、特に虚比を表現機能のプロトタイプとする「A像B一样X」には、その典型として比喩の表現も含まれている。しかしながら、比喩と同程度構造の区別が認められるのはすべて文脈によるものであった。

日本語とのパラレルコーパス（本稿ではBJSTC 中日対訳コーパスを用いる）において中国語の同程度比較構造における同定構造「A和B一样X」と比定構造「A像B一样X」の対訳に用いられる構造を調べると、日本語では比喩表現（「同じ」と共起しない）「よう」のみの表現と対応する比率が高い。すなわち、中日両国語の比較表現を対応させると、「A和B一样X」と「A像B一样X」に対応しては、「AはBと同じ」と「AはBと同じよう」を認めることができるが、「AはBのよう」に訳すことが極めて多い。例えば、

(1)他的眼发了光，和东边的屋顶上的反光一样亮。《骆驼祥子》

祥子は夕陽を照りかえしている屋根瓦のように、目をキラキラ輝かせて大きくうなずいた。

(2)父亲五岁时，就像小鸭子一样潜水，粉红的屁眼儿朝着天，双脚高举。  
《红高粱》

五歳のとき、父はアヒルの子のように水に潜って桃色の尻の穴を空に向け、両足を高々とあげていた。

原文と対訳を考察することにより、日中の言語構造の対照研究を行うということは、「共通の言いたいこと＝Base」をどのように「言語形式化する＝profile」かということを考察することに他ならない。そこで、対訳と対照するためには原文についても、「AはBのよう」つまり「同じ」を含まない比較構造で、かつ「典型的虚比の表現機能をもつ比喩構造」を導入する必要性がでてくる。それに伴い、中国語における考察対象も「一样」と共起しない「像」のみの構造へと拡大させることにした。

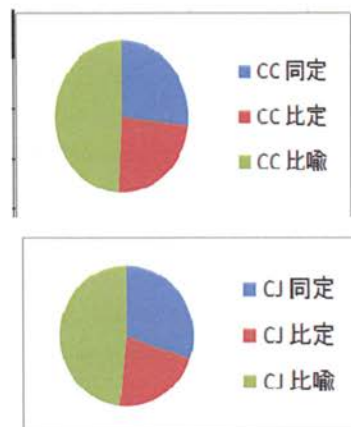
その結果、日本語におけるプロトタイプの構造は、同定構造では「AはBと同じ」、比定構造では「AはBと同じよう」、比喩構造では「AはとBのよう」という三本立てになる。それに合わせて中国語のプロトタイプ構造としても、同定構造「A和B一样X」、比定構造「A像B一样X」、のほかに、比喩構造「A像B」の三種類を取り上げて、以下中日対照の分析を進めることにする。

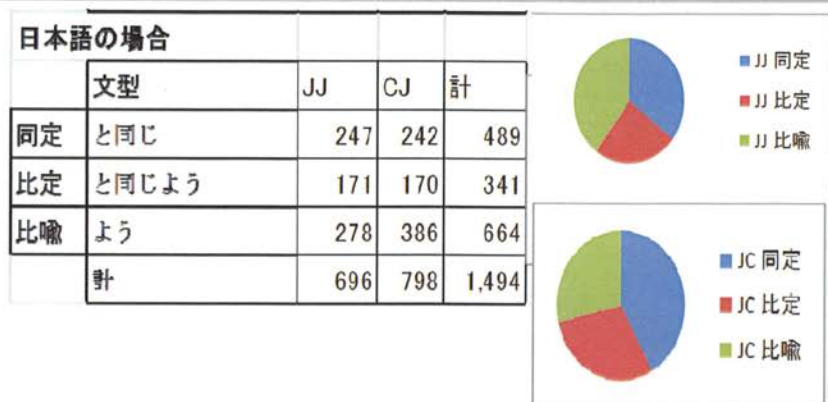
まず中国語と日本語における同定構造、比定構造、比喩構造の数を調査し、統計的検定をかけるための数値と比率を明らかにした。

表6・中国語の場合：中国語の原作CC及び日本語作品の中国語訳JC、  
日本語の場合：日本語の原作JJ及び中国語作品の日本語訳CJ。

表 6

中国語の場合				
	文型	CC	JC	計
同定	和/跟/同/与……一样	328	381	709
比定	像……一样	295	270	565
比喩	像	603	261	864
	計	1,226	912	2,138





## 7.同一文脈 (base) における言語構造の選択 (profile) について

パラレルコーパスで同じことを述べる文脈、すなわち一つの原作に対応する一つの翻訳 (認知言語学の概念では stage または base が同じ表現として捉える) を対照して考察する場合、前項表 6 で数えた中国語と日本語それぞれのコーパスにおける同定、比定、比喩の使用数のうち、原作に用いられた数とその対訳として用いられた数に対して、カイ二乗検定<sup>6</sup>を行った。

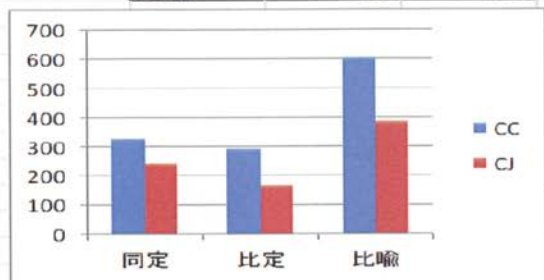
### 7.1 中国語原作と日本語対訳の場合

<sup>6</sup> カイ二乗検定とは、帰無仮説が正しければ検定統計量がカイ二乗分布に従うような統計学的検定法の総称であるが、この検定は原作とその対訳の間に有意差を明らかにするために用いることができる。したがって、下記「カイ二乗検定の結果」の符号について説明しておく。

実測値とは、コーパスから実際に観測された頻度データのことで、期待値とは、両コーパス間に「差がない」という仮定に基づいた場合に、理論上、こうなるだろうと期待 (予測) される頻度のことである。 $\chi^2$  (2)、 $\chi^2$ : カイ二乗統計量、(2): 自由度 (degree of freedom: df) 2 を表す。ns (not significant) は非有意を表す。Cramer's V は 2 要因間にどの程度の関連があるかを表す指標が連関係数であることを示し、その係数の有意性の検定としては独立性の検定が用いられる。

中国語原作CC・中国語作品の日本語訳CJ

	CC	CJ
同定	328	242
比定	295	170
比喩	603	386

「カイ二乗検定の結果」  
(上段実測値、下段期待値)

328	242
345.267	224.733
295	170
281.665	183.335
603	386
599.068	389.932
$\chi^2(2) = 3.857$ , ns	
Cramer's V = 0.043	

## 分析結果

上述の表、「中国語原作CC・中国語作品の日本語訳CJ」にまとめられた実測値に対して、カイ二乗検定を行ったところ、 $\chi^2(2) = 3.86$ , ns.であった。つまり中国語原作(CC コーパス)と中国語作品の日本語訳(CJ コーパス)では、同じ文脈(同じベース)において

同定、比定、比喩表現の出現比率には差はないと判断できる。

この統計結果から、以下のようなことが示唆される。CC・CJの場合、CCの同定、比定、比喩の割合はCJの割合にそのまま引き継がれる確率が高いと言える。つまり、中国語の同定、比定、比喩は日本語に訳す時、日本語の同定、比定、比喩構造になる可能性が高いことを示唆している。

それは中国語におけるプロトタイプの同定・比定・比喩構造は日本語においてもプロトタイプの同定・比定・比喩構造に対応するからである。

## 7.2 日本語原作と中国語対訳の場合

前節と同様の方法で、表「日本語原作J・日本語作品の中国語訳JC」にまとめられた値に対して、カイ二乗検定を行ったところ、 $\chi^2(2) = 22.75$ ,  $p < 0.01$ であった。このことから、日本語原作(JJ コーパス)と日本



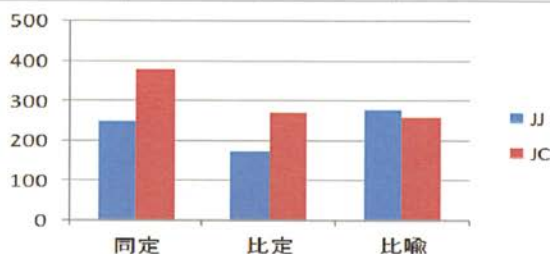
語作品の中国語訳（JC コーパス）では、同じ文脈（同じベース Base）において同定、比定、比喩表現の出現比率は同じではないと言える。

この結果は、以下のことが示唆される。JJ・JC の場合、JJ の同定、比定、比喩の割合は JC の割合にそのまま引き継がれる確率は低いと言える。つまり、日本語の同定、比定、比喩構造は中国語に訳す時、中国語の同定、比定、比喩構造になる可能性が低くなることを示唆している。その理由は日本語におけるプロトタイプと同定・比定・比喩構造は中国語に訳すと、プロトタイプと非プロトタイプ二つのタイプになり、必ずしもプロトタイプの

同定・比定・比喩構造に対応するのではないからである。以上の分析を本稿で使用してきた表現機能に関する概念と関係づけるならば、中国語における同定・比定構造には「実比」と「虚比（比喩）」を含んでいることが影響していた結果の表れと考えられる。

日本語原作JJ・日本語作品の中国語訳JC

	JJ	JC
同定	247	381
比定	171	270
比喩	278	261



カイニ乗検定の結果  
(上段実測値、下段期待値)

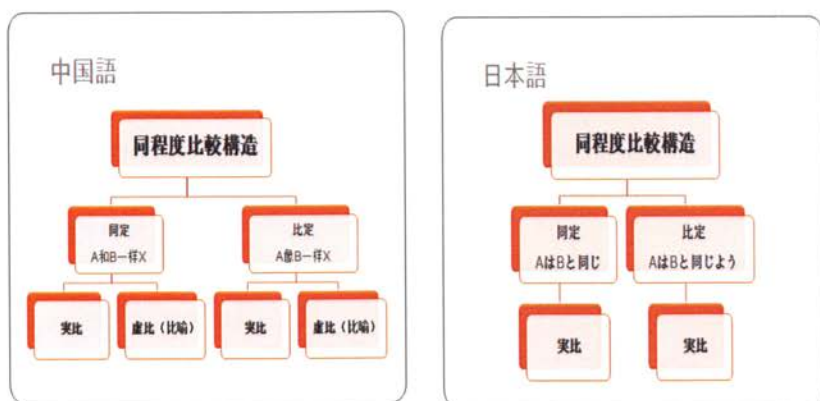
247	381
271.821	356.179

171	270
190.881	250.119

278	261
233.299	305.701

$\chi^2(2) = 22.749$  ,  $p < .01$

Cramer's  $V = 0.118$



## 8 構造別対応状況

### 8.1 選択された比較構造(同定・比定・比喩)の「ばらつき」と「集中」

どの比較構造が好んで使われるか、について、中国語と日本語で何らかの差が存在するのではないかという問題意識が、教室で翻訳指導にあたる時やパラレルコーパスの対応表現を検討する時に生じてくる。本稿ではこの問題意識に対して解答を得ようと試みた。

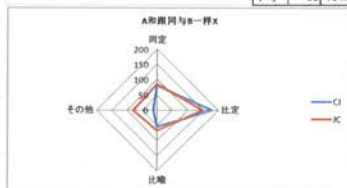
中国語の同定構造「A 和/跟/同/与 B 一样 X」が4つ(同定・比定・比喩・その他)の日本語文型に訳された(「ばらける表現」と呼ぶ)4つの数量、反対に、日本語の4つ(同定・比定・比喩・その他)の文型から中国語の「和/跟/同/与…一样」に訳された数量(「まとまる表現」と呼ぶ)を計算し、それに、カイ二乗検定を行う。さらに日本語の同定構造「AはBと同じ」も上記の手順で計算する。

以下、比定構造、比喩構造の計算も上記の手順で行う。

#### 1-a) 同定構造 中国語「A 和/跟/同/与 B 一样 X」

同定構造a

A和/跟/同/与B一样X			同定	比定	比喩	その他	計
ばらける表現	中国語C「A和/跟/同/与B一样X」から日本語Jへ	CJ	79	180	56	13	328
まとまる表現	日本語Jから中国語C「A和/跟/同/与B一样X」へ	JC	85	149	66	81	381
		平均	82	164.5	61	47	



下期待値

同定構造「A和/跟/同/与B一样X」					まとまる表現					
ばらける表現 「カイ二乗検定の結果」 (上段実測値, 下段期待値)					ばらける表現 「カイ二乗検定の結果」 (上段実測値, 下段期待値)					
79    180    56 328    0    0					13	85    149    66 381    0    0				
$\chi^2(3)=\text{Infinity}, p<.01$ ==ライアンの名義水準を用いた多重比較== (有意水準 alpha = 0.05 とします)						$\chi^2(3)=\text{Infinity}, p<.01$ ==ライアンの名義水準を用いた多重比較== (有意水準 alpha = 0.05 とします)				
セル比較		臨界比	検定	名義水準		セル比較		臨界比	検定	名義水準
1 < 2	6.21 *	p<0.0002	0.025	1 < 2		4.12 *	p<0.0002	0.025		0.025
1 = 3	1.89 ns	p>.05	0.025	1 = 3		1.46 ns	p>.05	0.0125		0.0125
1 > 4	6.78 *	p<0.0002	0.0125	1 = 4		0.23 ns	p>.05	0.025		0.025
2 > 3	8.01 *	p<0.0002	0.0125	2 > 3		5.59 *	p<0.0002	0.00633		0.00633
2 > 4	11.95 *	p<0.0002	0.00633	2 > 4		4.42 *	p<0.0002	0.0125		0.0125
3 > 4	5.06 *	p<0.0002	0.025	3 = 4		1.15 ns	p>.05	0.025		0.025

## 解釈

左の表のように、中国語における同定構造

「A和跟同与B一样X」328件の用例に対して、その日本語の対訳は同じ数量の同定構造になると仮定した。

即ち期待値：同定(328)

比定 (0)・比喩 (0)・

その他 (0) に対して、

実測値：同定 (79)・

比定 (180)・比喩

(56)・その他 (13)

であったことに対して、

カイ二乗検定及びライ

アン法による多重比較

を行ったところ、ばら

ける表現の内容は「同定<比定」、「同定=比喩」、「同定>その他」、「比定>比喩」、「比定>その他」、「比喩>その他」に関連付けされる。

また中国語の同定構造「A和跟同与B一样X」に訳された381件の用例に対して、日本語の原文は同じ数量の同定構造であると仮定した。

即ち期待値：同定(381)比定 (0)・比喩 (0)・その他 (0) に対して、実測値：同定 (85)・比定 (149)・比喩 (66)・その他 (81) であったこと

に対して、カイ二乗検定及びライアン法による多重比較を行ったところ、まとまる表現の内容は「同定<比定」、「同定=比喩」、「同定=その他」、「比定>比喩」、「比定>その他」、「比喩=その他」に関連付けされる。

## 1-b) 同定構造 日本語「AはBと同じ」

同定構造b

AはBと同じ			同定	比定	比喩	その他	計
ばらける表現	日本語J「AはBと同じ」から中国語Cへ	JC	135	45	6	61	247
まとまる表現	中国語Cから日本語J「AはBと同じ」へ	CJ	129	47	7	59	242
		平均	132	46	6.5	60	



## 解釈

左の表のように、日本語における同定構造「AはBと同じ」247

件の用例に対して、その中国語の対訳は同じ数量の同定構造になると仮定した。即ち期待値：

同定(247)比定 (0)・比喩 (0)・

その他 (0) に対して、実測値：

日本語 同定構造: AはBと同じ 「カニ」象決定の結果 (上段実測値, 下段期待値)				まとまる表現 「カニ」象決定の結果 (上段実測値, 下段期待値)			
135	45	6	61	129	47	7	59
247	0	0	0	242	0	0	0
$\chi^2(3)=\text{Infinity}, p<.01$ ニライアの義水準を用いた多重比較= (有意水準 alpha = 0.05 とします)				$\chi^2(3)=\text{Infinity}, p<.01$ ニライアの義水準を用いた多重比較= (有意水準 alpha = 0.05 とします)			
セル比較	臨界比	検定	義水準	セル比較	臨界比	検定	義水準
1 > 2	6.63 *	$p<0.0002$	0.0125	1 > 2	6.11 *	$p<0.0002$	0.0125
1 > 3	10.78 *	$p<0.0002$	0.00833	1 > 3	10.38 *	$p<0.0002$	0.00833
1 > 4	5.21 *	$p<0.0002$	0.025	1 > 4	5.03 *	$p<0.0002$	0.025
2 > 3	5.32 *	$p<0.0002$	0.025	2 > 3	5.31 *	$p<0.0002$	0.025
2 = 4	1.46 ns	$p>.05$	0.025	2 = 4	1.07 ns	$p>.05$	0.025
3 < 4	6.6 *	$p<0.0002$	0.0125	3 < 4	6.28 *	$p<0.0002$	0.0125

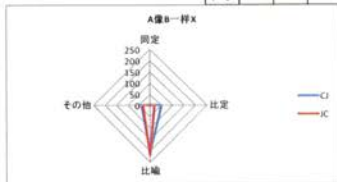
同定 (135)・比定 (45)・  
比喩 (6)・その他 (61)で  
ある。多重比較処理して、  
ばらける表現の内容は「同  
定>比定」、「同定>比  
喩」、「同定>その他」、「  
比定>比喩」、「比定=そ  
う他」、「比喩<その他」  
に関連付けされる。

また日本語の同定構造

「AはBと同じ」に訳された242件の用例に対して、中国語の原文は同じ数量の同定構造であると仮定した。即ち期待値：同定(242)比定(0)・比喩(0)・その他(0)に対して、実測値：同定(129)・比定(47)・比喩(7)・その他(59)であったことに対して、カイ二乗検定及びライアン法による多重比較を行ったところ、まとまる表現の内容は「同定>比定」、「同定>比喩」、「同定>その他」、「比定>比喩」、「比定=その他」、「比喩<その他」に関連付けられる。

## 2-a) 比定構造 中国語「A 像 B 一样 X」

比定 備 考		判定	比定	比値	その他	計
A像B→1X						
ばらばら表現	中国語C「A像B→1X」から日本語Jへ	CJ	5	48	203	295
まとまる表現	日本語Jから中国語C「A像B→1X」へ	JC	1	18	216	33
		平均	3	33	210.5	36



### 解释

左の表のように、中国語における比定構造「A 像 B 一样 X」295 件の用例に対して、その日本語の対訳は同じ数量の比定構造になると仮定した。即ち期待値：同定(0)比定

(295)・比喩 (0)・その他 (0) に対して、実測値: 同定 (5)・比定 (48)・比喩 (203)・その他 (39) であったことに対して、カイ二乗検定及びブライアン法による多重比較を行ったところ、ばらける表現の内容は「同定<比定」、「同定<比喩」、「同定<その他」、「比定<比喩」、

中国語				日本語			
比定構造 A(倍)-様X				比定構造 A(倍)-様X			
与った表現 「力い二乗決定の結果」 (上段実測値, 下段期待値)				与った表現 「力い二乗決定の結果」 (上段実測値, 下段期待値)			
5	48	203	39	1	18	218	33
0	295	0	0	0	270	0	0
$\chi^2(3) = \infty, p < .01$				$\chi^2(3) = \infty, p < .01$			
==ライマンの名義水準を用いた多重比較== (有意水準 $\alpha = 0.05$ とします)				==ライマンの名義水準を用いた多重比較== (有意水準 $\alpha = 0.05$ とします)			
セル比較	観見比	検定	名義水準	セル比較	観見比	検定	名義水準
1 < 2	5.77 * $p < 0.0002$	0.0125	1 < 2	3.67 * $p < 0.0002$	0.0025	1 < 2	3.67 * $p < 0.0002$
1 < 3	13.66 * $p < 0.0002$	0.00833	1 < 3	14.6 * $p < 0.0002$	0.00833	1 < 3	14.6 * $p < 0.0002$
1 < 4	4.97 * $p < 0.0002$	0.025	1 < 4	5.32 * $p < 0.0002$	0.0125	1 < 4	5.32 * $p < 0.0002$
2 < 3	9.72 * $p < 0.0002$	0.025	2 < 3	12.95 * $p < 0.0002$	0.0125	2 < 3	12.95 * $p < 0.0002$
2 < 4	0.86 ns $p > .05$	0.025	2 < 4	1.96 ns $p = 0.0488$	0.025	2 < 4	1.96 ns $p = 0.0488$
3 < 4	10.48 * $p < 0.0002$	0.0125	3 < 4	11.61 * $p < 0.0002$	0.0025	3 < 4	11.61 * $p < 0.0002$

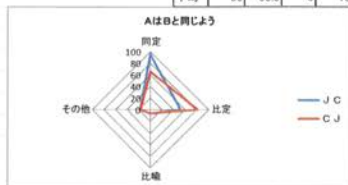


「比定=その他」、「比喩>その他」に関連付けされる。

また中国語の比定構造「A 像 B 一样 X」に訳された 270 件の用例に対して、日本語の原文は同じ数量の比定構造であると仮定した。即ち期待値：同定(0)比定 (270)・比喩 (0)・その他 (0) に対して、実測値：同定 (1)・比定 (18)・比喩 (218)・その他 (33) であったことに対して、カイ二乗検定及びライアン法による多重比較を行ったところ、まとまる表現の内容は「同定<比定」、「同定<比喩」、「同定<その他」、「比定<比喩」、「比定=その他」、「比喩>その他」に関連付けされる。

## 2-b)比定構造 日本語「A は B と同じよう」

比定構造b			同定	比定	比喩	その他	計
AはBと同じよう							
ばらける表現	日本語J「AはBと同じよう」から中国語Cへ	JC	95	52	6	18	171
まとまる表現	中国語Cから日本語J「AはBと同じよう」へ	CJ	65	81	6	18	170
		平均	80	66.5	6	18	



日本語				中国語				英語							
比定構造 AはBと同じよう				比定構造 A is like B				比定構造 A is like B							
ばらける表現				まとまる表現				まとまる表現							
「カイ二乗検定の結果」 (上段実測値、下段期待値)				「カイ二乗検定の結果」 (上段実測値、下段期待値)				「カイ二乗検定の結果」 (上段実測値、下段期待値)							
95		52		6		18		65		81		6		18	
0		171		0		0		0		170		0		0	
$\chi^2(3)=\infty, p<.01$				$\chi^2(3)=\infty, p<.01$				$\chi^2(3)=\infty, p<.01$							
==ライアンの名義水準を用いた多重比較== (有意水準 alpha = 0.05 とします)				==ライアンの名義水準を用いた多重比較== (有意水準 alpha = 0.05 とします)				==ライアンの名義水準を用いた多重比較== (有意水準 alpha = 0.05 とします)							
セル比較		臨界比		検定		名義水準		セル比較		臨界比		検定		名義水準	
1 > 2		3.46 *		p<0.000		0.025		1 = 2		1.24 ns		p>.05		0.025	
1 > 3		8.76 *		p<0.000		0.00693		1 > 3		6.89 *		p<0.0002		0.0125	
1 > 4		7.15 *		p<0.000		0.0125		1 > 4		5.05 *		p<0.0002		0.025	
2 > 3		5.91 *		p<0.000		0.0125		2 > 3		7.93 *		p<0.0002		0.00693	
2 > 4		3.94 *		p<0.000		0.025		2 > 4		6.23 *		p<0.0002		0.0125	
3 > 4		2.25 *		p=0.024		0.025		3 < 4		2.25 *		p=0.0244		0.025	

現の内容は「同定>比定」、「同定>比喩」、「同定>その他」、「比定>比喩」、「比定>その他」、「比喩<その他」に関連付けされる。

また日本語の比定構造「A は B と同じよう」に訳された 170 件の用例に対して、中国語の原文は同じ数量の比定構造であると仮定した。即ち期待値：同定(0)比定 (170)・比喩 (0)・その他 (0) に対して、実測値：同定 (65)・比定 (81)・比喩 (6)・その他 (18) であったことに対して、カイ二乗検定及びライアン法による多重比較を行ったところ、まとまる表現の内容は「同定=比定」、「同定>比喩」、「同定>その他」、「比定>比喩」、「比定>その他」、「比喩<その他」に関連付けされる。

## 解釈

左の表のように、日本語における比定構造

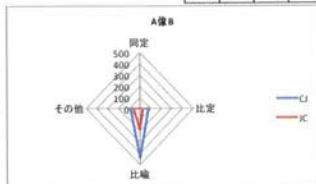
「A は B と同じよう」171 件の用例に対して、その中国語の対訳は同じ数量の比定構造になると仮定した。即ち期待値：同定(0)比定

(171)・比喩 (0)・その他 (0) に対して、実測値：同定 (95)・比定 (52)・比喩 (6)・その他 (18) であったことに対して、カイ二乗検定及びライアン法による多重比較を行ったところ、ばらける表

## 3-a) 比喩構造 中国語「A像B」

比喩構造a

A像B		同定	比定	比喩	その他	計	
ばらける表現	中国語C「A像B」から日本語Jへ	CJ	1	80	436	86	603
まとまる表現	日本語Jから中国語C「A像B」へ	JC	0	30	174	57	261
		平均	0.5	55	305	71.5	



中国語

比喩構造 A像B

ばらける表現

「カイ二乗検定の結果」

(上段実測値、下段期待値)

1	80	436	86	0	30	174	57
0	0	603	0	0	0	261	0

x2(3)=Infinity, p&lt;.01

==ライアンの名義水準を用いた多重比較==  
(有意水準 alpha = 0.05 とします)

まとまる表現

「カイ二乗検定の結果」

(上段実測値、下段期待値)

0	30	174	57
0	0	261	0

x2(3)=NaN00000, ns

セル比較 臨界比 検定 名義水準

1 < 2	8.87 *	p<0.0002	0.025
1 < 3	20.78 *	p<0.0002	0.00933
1 < 4	9.01 *	p<0.0002	0.0125
2 < 3	15.63 *	p<0.0002	0.0125
2 = 4	0.39 ns	p>.05	0.025
3 > 4	15.28 *	p<0.0002	0.025

## 解釈

左の表のように、中国語における比喩構造「A像B」603件の用例に対して、その日本語の対訳は同じ数量の比喩構造になると仮定した。即ち期待値：同定(0)比定(0)・比喩(603)・その他(0)に対して、実測値：同定(1)・比定(80)・比喩(436)・その他(86)であったことに対して、カイ二乗検定及びライアン法による多重比較を行ったところ、ばらける表現の内容は「同定<比定」、「同定<比喩」、「同定<その他」、「比定=その他」、「比喩>その他」に関連付けられる。

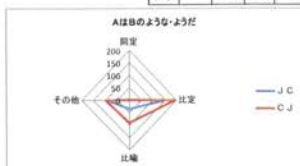
また中国語の比喩構造「A像B」に訳された261件の用例に対して、日本語の原文は同じ数量の比喩構造であると仮定した。即ち期待値：同定(0)比定(0)・比喩(261)・その他(0)に対して、実測値：同定(0)・比定(30)・比喩(174)・その他(57)である。カイ二乗検定の結果として有意水準5%で帰無仮説は棄却されず、有意差がでなかった。即ち日本語の比喩構造から中国語の比喩構造にまとまる比率は高いと判断できる。

## 3) 比喩構造 日本語「AはBのような・ようだ」

比喩構造b

AはBのような・ようだ

ばらける表現	日本語J「AはBのような・ようだ」から中国語Cへ	JC	0	149	36	93	278
まとまる表現	中国語Cから日本語J「AはBのような・ようだ」へ	CJ	2	194	89	101	386
		平均	1	171.5	62.5	97	



## 解釈

日本語 比喩構造 AはBのような・ようだ																				
ばらける表現 「カイ二乗検定の結果」 (上段実測値、下段期待値)	まとまる表現 「カイ二乗検定の結果」 (上段実測値、下段期待値)																			
<table><tr><td>0</td><td>149</td><td>36</td><td>93</td></tr><tr><td>0</td><td>0</td><td>278</td><td>0</td></tr></table>	0	149	36	93	0	0	278	0	<table><tr><td>2</td><td>194</td><td>89</td><td>101</td></tr><tr><td>0</td><td>0</td><td>386</td><td>0</td></tr></table>				2	194	89	101	0	0	386	0
0	149	36	93																	
0	0	278	0																	
2	194	89	101																	
0	0	386	0																	
x2(3)=NaN00000 , ns	x2(3)=Infinity , p<.01																			
==ライアンの名義水準を用いた多重比較== (有意水準 alpha = 0.05 とします)																				
セル比較 臨界比 検定 名義水準																				
1 < 2 13.64 * p<0.000 0.00833																				
1 < 3 9.02 * p<0.000 0.025																				
1 < 4 9.66 * p<0.000 0.0125																				
2 > 3 6.18 * p<0.000 0.0125																				
2 > 4 5.36 * p<0.000 0.025																				
3 = 4 0.8 ns p>.05 0.025																				

左の表のように、日本語における比喩構造「AはBのような・ようだ」278件の用例に対して、その中国語の対訳は同じ数量の比喩構造になると仮定した。即ち期待値：同定(0)比定(0)・比喩(278)・その他(0)に対して、実測値：同定(0)・比定(149)・比喩(36)・その他(93)であ

る。カイ二乗検定の結果として有意水準 5%で帰無仮説は棄却されず、有意差がでなかった。即ち日本語の比喩構造から中国語の比喩構造にばらける比率は高いと判断できる。

また日本語の比喩構造「AはBのような・ようだ」に訳された386件の用例に対して、中国語の原文は同じ数量の比喩構造であると仮定した。即ち期待値：同定(0)比定(0)・比喩(386)・その他(0)に対して、実測値：同定(2)・比定(194)・比喩(89)・その他(101)であったことに対して、カイ二乗検定及びライアン法による多重比較を行ったところ、まとまる表現の内容は「同定<比定」、「同定<比喩」、「同定<その他」、「比定>比喩」、「比定>その他」、「比喩=その他」に関連付けられる。

## 8.2 原作と対訳における構造の対応関係

前項で統計検定をかけた数値だけでは、統計の手法に慣れていなければ独力で解釈することができない。そこで、さらに「構造のばらけ方」と「集中の仕方」が簡単に理解できる整理方法として、同定構造、比定構造、比喩構造それぞれの対応訳文の使用順位を簡単に示せる変数の標準化<sup>7</sup>を行い、以下の結果を得た。

表9 同定・比定・比喩構造の変数標準化表

中国語の場合と日本語の場合：

<sup>7</sup>変数の標準化とは、個々のデータが資料の中でどれくらいの位置にあるかを一目でわかるようにする変換することである。この標準化を行うと、単位やスケールの異なる複数の変数間のデータの比較も行える。

変数標準化表

同定構造

中国語「A和B一样X」

区分	中国語からばらける		中国語へ集中	
項目	CJ	順位	JC	順位
同定	-0.04	2	-0.28	2
比定	1.38	1	1.46	1
比喩	-0.37	3	-0.80	4
その他	-0.97	4	-0.39	3

比定構造

中国語「A像B一样X」

区分	中国語からばらける		中国語へ集中	
項目	CJ	順位	JC	順位
同定	-0.78	4	-0.66	4
比定	-0.29	2	-0.49	3
比喩	1.47	1	1.49	1
その他	-0.39	3	-0.34	2

比喩構造

中国語「A像B」

区分	中国語からばらける		中国語へ集中	
項目	CJ	順位	JC	順位
同定	-0.77	4	-0.86	4
比定	-0.36	3	-0.46	3
比喩	1.47	1	1.43	1
その他	-0.33	2	-0.11	2

日本語「AはBと同じ」

日本語からばらける

日本語へ集中

JC	順位	CJ	順位
1.36	1	1.35	1
-0.31	3	-0.27	3
-1.03	4	-1.05	4
-0.01	2	-0.03	2

日本語「AはBと同じよう」

日本語からばらける

日本語へ集中

JC	順位	CJ	順位
1.31	1	0.62	2
0.23	2	1.06	1
-0.92	4	-1.01	4
-0.62	3	-0.68	3

日本語「AはBのよう」

日本語からばらける

日本語へ集中

JC	順位	CJ	順位
-1.06	4	-1.20	4
1.22	1	1.24	1
-0.51	3	-0.10	3
0.36	2	0.06	2

## 分析結果

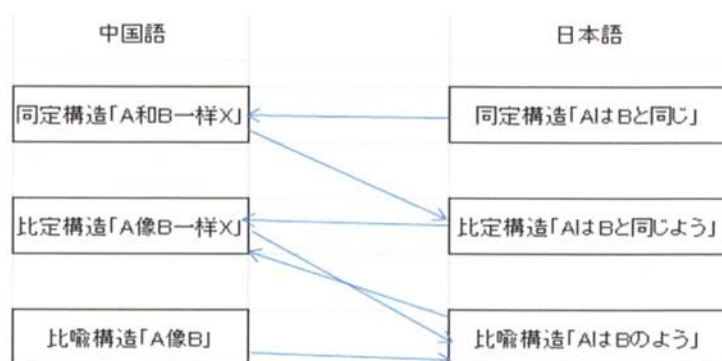
- ①同定構造の場合、中国語の同定プロトタイプ「A和B一样X」構造は日本語の比定構造「AはBと同じよう」に訳される比率が高く、日本語の同定のプロトタイプ「AはBと同じ」構造は中国語の同定構造に訳される比率が高い。
- ②比定構造の場合、中国語の比定のプロトタイプ「A像B一样X」構造は日本語の比喩構造「AはBのよう」構造に訳される比率が高いが、日本語の比定プロトタイプ「AはBと同じよう」構造は中国語の比定文に訳される比率が高い。
- ③比喩構造の場合、中国語の比喩のプロトタイプ「A像B」構造は日本語の比喩構造「AはBのよう」構造に訳される比率が高く、日本語の比喩構造「AはBのよう」構造は中国語の比定構造「A像B一样X」に訳される比率



が高いことを確認できた。

以上の対応関係をまとめると下図で示すことができる。

中国語と日本語における同定構造、比定構造、比喻構造の対応関係



この対応関係を概括するならば、中国語における同程度比較構造は日本語の同程度比較構造と比喻構造に対応することが明らかになった。このことは中国語における同程度比較構造が「実比」と「虚比」双方の表現機能を備え、言語形式による区別がはっきりしていないからである。一方、日本語では言語形式で「実比」と「虚比」の表現機能をわけて表現する。

比喻表現は先ず本体と喩体の比較を行い、それらの相似点を探し、共有の形で弁別し示すものである。これは形式上比較範疇の語用機能と類似のものであり、比較行為に始まり弁別の結果で終わるものである。

比較も比喻もすべて未知の事物を既知の事物と比較対照して、両者の相似性を手掛かりに、既知を通して未知を把握する、全て人類の範疇化の一手段である。

## 9.おわりに

中国語と日本語における同程度比較構造は、対照言語学の一般理論として周知されているように、目標言語と母語の相違点及び類似点でも微妙な差があるところが、学習者にとって習得が難しいところである。中国語同程度比較構造を教える際には、実比と虚比の表現機能を説明したうえで、その構造との対応関係を明らかにすることが有効であろう。

## 参考文献

安達太郎『比較構文の全体像』広島女子大学国際文化学部紀要(1998・9)

石川慎一郎・前田忠彦・山崎誠編『言語研究のための統計入門』くろしお出版, 2010

李成才《“跟……一样”用法浅谈》, 语言教学与研究, 1991年第2月

李剑锋《“跟X一样”及相关句式考察》, 汉语学习, 第6期, 2000年12月

刘焱《现代汉语比较范畴的语义认知基础》2004, 学林出版社

刘振平《两种等比句式的用法差异及语义制约因素》, 语言教学与研究, 2010年第1期

刘振平《谈“X跟Y一样W”语式的语义预设》, 信阳师范学院学报第27卷第1期, 2007年2月

宋玉柱《与“象”有关的几个问题》, 杭州大学学报, 1985年第1期

宋玉柱《关于“象”的词性问题》, 中国民航学院学报, 1984年第1期

辻幸夫『新編認知言語学キーワード事典』研究社, 2013

涌井良幸、涌井貞美『Excelで学ぶ統計解析』ナツメ社, 2005

吴为善《认知语言学与汉语研究》, 复旦大学出版社, 2011

吴仲华《“和X一样”结构的两种表义功能及其他》, 鄂州大学学报, 第12卷第4期, 2005年7月

吴仲华《比况短语中的“跟X一样/似的”格式》, 湖北成人教育学院学报第11卷第5期, 2005年9月

岳秀文、陈祝琴《“像”字句语义试析》, 安庆师范学院学报第24卷第4期, 2005年7月

张娣《基于对外汉语教学的三类汉语平比句肯定形式研究综述》, 玉溪师范学院学报, 2011年第6期

郑巧斐《“一样”与“不一样”比较句的不对称》, 云南师范大学学报, 第4卷第6期, 2006年11月

朱德熙《说“跟……一样”》, 汉语学习, 1982年3月

## 使用統計プログラム

- js-STAR 2012  
<http://www.kisnet.or.jp/nappa/software/star/index.htm>